

官民連携に関する合同セミナー

(令和6年度第1回地域包括ケア応援セミナー)

日 時：令和6年7月11日（木） 13時00分～15時00分

開催方法：オンライン（Teams）

主 催：関東信越厚生局 関東経済産業局

参加人数：110名



今回のセミナーは、関東信越厚生局と関東経済産業局の担当で結成するチーム～キャラバン隊～をきっかけとして自治体と企業がマッチングし新たな取組を開始した好事例などを紹介し、企業の力を活用した地域づくりをどのように促進できるかについて考える機会となりました。

今後も両局の連携をより一層強化し、管内における地域社会の課題解決の活性化を図っていきたいと思います。



～ アンケート結果 ～

1. アンケート回答者：26名（回答率23.6%）

2. 主なご意見、感想

①本セミナーの満足度について

○本市においても検討をしているアプリの具体例を聞くことができた。

○介護支援ボランティア制度の見直しを考えているタイミングだったため、伊勢原市の取り組みの詳細が伺えて大変参考になりました。また、キャラバン隊の制度について初めて知ることができて良かったです。

○官民連携の手法のイメージが少しわきました。

○当町でもICTを活用した健康ポイント事業を検討している所であり、伊勢原市の具体的な取り組み等大変参考になりました。

②イベントの良かった点について

- あまり触れてこなかった話題であったので、皆様それぞれ興味深い内容でした。
- キャラバン隊からの支援でアプリを導入できたという事例がうらやましく、そして当自治体もそうできないかと心から感じました。どうしたらその方向に進めるのか考えていきたい。

③官民連携に取り組んでみたいか

- 課題解決のために共に事業を作っていけるのが素晴らしいと思いました。やはり、行政だけでは、リソース・技術に限界がありますので、手を携えて進めていけるのが良いです。
- 自治体だけでは限界があり、すでにいろんな内容で民間への委託などを通して連携が進んでいる。
- 難しいと思いますが視点が深まりました。すぐに取り組むことは不可能だと思いますが研修により深まりました。
- 介護支援ボランティアの業務効率化と高齢者にとっても参加したくなるボランティア制度に変えていきたいと考えており、バスプラさんにも以前お話を伺ったこともあります。民間と連携しながら取り組んでみたいと思っています。
- 地域活性化にもつながると考えたからです。
- 自分もしくは庁内が持つ知識や経験、考え方には限界があると感じている。また、長期間、同じ組織に属していると経験や視野も狭くなる。民間の効率的、先進的な考え方やスキル等を取り入れ効率化することが、最終的には住民の利益になると考えている。

④キャラバン隊について

- 現在とある企業と共同で事業を進めようと企画していますが、政策企画課の担当者から「他の企業はないのか?」「他に良いサービスはないのか?」「その企業のサービスが最適というエビデンスを示せ」等と言われて困っていました。経済産業局様にそういう一覧があるということでしたので、その方面で調べればよかったのだと気がつきました。来年度政策企画課に提案するときはお願ひできればと思いました。
- 今後も定期的にキャラバン隊や官民連携に関してのお話を伺いたい。